

# 片山氏が対馬など視察

## 地方創生へ住民と意見交換

片山さつき地方創生担当相が16日、本県入りし、対馬などを視察。地方創生に向け住民らと意見交換した。

地方創生の5カ年計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は2019年度が最終年度。視察は地方のニーズを把握し、次期総合戦略へ生かす狙いがある。

対馬市では、クロマグロ養殖やシイタケ生産を視察。国の地方創生推進交付金を

活用している一般社団法人「daidai」では、代表理事の斉藤ももこさん(31)が農業被害対策などで捕獲したシカやイノシシを皮革製品に加工し、子育て中の母親の手仕事につなげていることを説明。「販路拡大や情報発信に向け、島外とのインターネット回線を増強してほしい」と要望した。

片山氏は報道陣に「対馬では極めて可能性のある地域おこしが始まっている。しっかり応援していきたい」と話した。片山氏は同日、大村市も視察した。

(緒方秀一郎)



視察先の対馬で、斉藤さん(左)と意見交換する片山地方創生担当相(右) 〓 対馬市、daidai

### 読売新聞

## 片山地方創生相 対馬・大村を視察

### マグロ加工場など

片山地方創生相は16日、県内を訪れ、対馬市や大村市での地方創生に向けた課題や取り組みを確認した。

対馬市では、比田勝尚喜市長らとクロマグロの加工

場やシイタケの植菌工場、シカ・イノシシの皮で作られた革製品販売店を訪問。責任者らから説明を受け、マグロの解体や原木にシイタケの種駒を埋め込む作業などに見入った。

報道陣の取材に応じた片山地方創生相は「可能性のある地域おこしが始まっている。しっかり応援していきたい」と話した。

同市への訪問に先立ち、片山地方創生相は長崎空港(大村市)で中村知事と懇談したほか、九州新幹線長崎(西九州)ルートの新大村駅(仮称)の建設予定地や県立・大村市立一体型図書館「ミライオン図書館」などを視察した。

懇談後の取材で、中村知事は「離島ならではの様々な課題もあるので、力添えいただければと思っっている」と述べた。